



田中 咲絵さん  
技術職 大阪府立環境農林水産試験研究所  
水産技術センター

採用4年目

## 深刻な奨学金返済問題に 取り組んでほしい

今の職場は2年の契約期間を経て技術職として採用され、今年度で4年目を迎えます。業務はフィールド調査やサンプルの分析、分析機器の維持・管理を主にしています。4年目で業務には慣れましたが、今年から指導の手が離れ、責任が発生したことによる重圧と失敗を恐れる余り自由な働き方、戸惑っているところなんです。

さらに、追い討ちを掛けるように金銭面でも辛い時期を迎えました。というのも、前年の収入が上がったことで所得税の増額と同時に、奨学金返済額の減額も認められなくなり、手取りが大幅に減ったのです。仕事上の役割の変化に加え、収入の抑圧は生活を窮乏なものにしてシワツワと心を蝕み、落ち込む日を過ごす事が度重なりました。しかし、その度に励ましの言葉を下さる組合の方、話を聞いて下さる先輩方がいました。奨学金返済については多くの人が同じような負担を背負っています。府職でも奨学金問題に取り組んでもらえたらと思います。今、この時期を乗り越えた先に「ほんの少しラクになる瞬間」があるように思えます。



採用1年目

左から諏訪田さん・道姓さん・鈴木さん

諏訪田 私も、一話しやすかった」と子どもに言われると嬉しいんです。否定的な発言が多かった子どもが、生活の中でほめられる経験を積み変化し成長していく姿にやりがいを感じます。子どもが入所している間に何が出来るか、成長に役立つ支援が出来るかを考え行動することに悩みます。

●これからやりたい仕事は？

道姓 組合は、他職場の方のお話や経験をお聞きし、交流できる場であると感じています。

鈴木 組合の中で同僚と会う機会があると嬉しいです。

諏訪田 私もそう思います。今後、研修など外にも足を運び、自分の視野を広げていけたらと考えています。

### 連載 2

これはやばい!?

不払い・サービス残業根絶

長時間労働規制

誰もが8時間働けば普通に生活できる社会を

「働き方改革推進」という名の働かせ放題、過労死促進

今年9月に労働政策審議会が答申した「働き方改革推進法案」は、①労働基準法の見直し「残業代ゼロで働かせ放題の事態を招く」「高度プロフェッショナル制度創設・裁量労働制の対象業務拡大」法案、「過労死残業容認の時間外上限規制」法案、②有期パート法案創設、労働者派遣法見直し「同一労働でも賃金格差容認の「名ばかり均等待遇」法案、③雇用対策法の見直し「国の労働施策を「生産性革命」の手段にする「雇用流動化リストラ推進」法案」といふ内容です。

これまで労働者を守るために長い年月をかけてつくられてきた法律を「働き方改革」といって、まとめて大改悪しようとしています。前回は「第一の問題」として「特定高度専門業務・成果型労働制（高度プロフェッショナル制度）」という「いくら働かせても残業代ゼロ」の制度について解説しました。今回は…

### 第二の問題

#### 企画業務型裁量労働制の対象業務の拡大

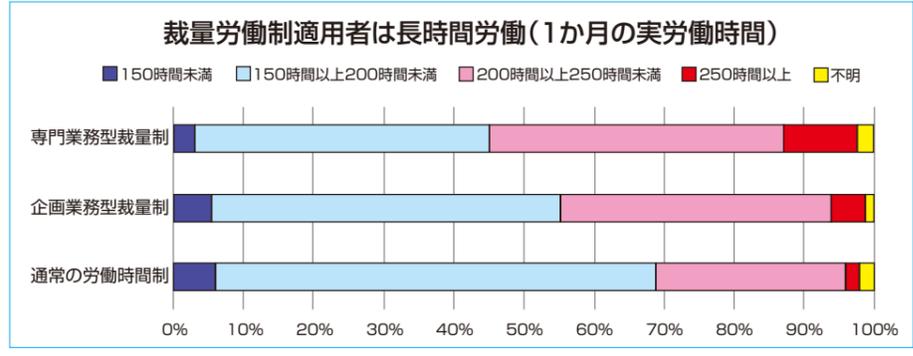
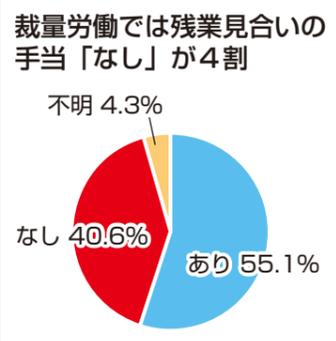
「裁量労働制」とは、実労働時間とは別に、労使委員会であらかじめ決議した時間働いたものと「みなす」ことができる制度で「みなし労働時間制」とも言われています。実際に働いた時間に関係なく、あらかじめ取り決めた時間働いたこととする危険な制度です。

現在は「裁量労働制」の対象業務は、研究開発や人文科学・自然科学に関する研究業務、新聞・出版の取材・編集等の専門業務に限られていましたが、その対象業務を提案型営業や本社企画部門以外のPDCAサイクルをまわす業務にも拡大しようとしています。

人事権も業務量や納期を決裁する権限もない営業職や企画立案・調査分析担当職に対して、実労働時間管理を行わず、この「みなし労働時間」を適用すれば、長時間労働化は必至です。

#### 裁量労働制なら「自由に働いて早帰りもできる？」

本当にそうでしょうか？今の長時間労働の実態を見れば「長時間働かされて残業代も支払われない」ケースが圧倒的になるのは明らかではないでしょうか。現在でも、すでに裁量労働制が導入されている業務では、長時間労働が深刻化しています。さらには、裁量労働制のもとでは、残業見合いの手当も支給されていないケースが圧倒的です。「自由に働いて早帰りもできる」というような制度では決してありません。残業代を払わずに長く働かせる制度にほかなりません。「不払い残業合法化・過労死促進制度」は撤回すべきです。



### 検査で培 府民の安



採用13年目

組合に入っていると他部署の情報など情報共有できることや、お互いの意見を尊重しあえる機会があります。また、時間外手当の申請など当たり前の権利を組合で教わりました。

●府職労へひと言

かれています。毎々に専門知識が深まるので、よりよく働くためには、お互いに業務がやりやすい情報共有と協力が大切だと思います。

### 多くのことを経験し知識を蓄えたい やりがいを見つけ長く勤めたい

採用1年目 竹内 真緒さん  
行政職 学校総務サービス課

採用4年目 北村 可奈子さん  
行政職 学校総務サービス課

北村 いまの職場は2か所目ですが、どちらの職場も親切な方が多く恵まれた環境でした。今後も、これまでのような職場であればいいなと思います。

●これからやりたい仕事は？

北村 これからいろんな職場に行ってみようかなと思います。いいことも大変なこともあると思いますが、意見として発信することで通りやすくなると思います。「自分の職場は恵まれている」と思える職員が増えるように、積極的に職員の生の声を反映してほしいです。

北村 1人でも多くの人が、大阪府庁に入庁してよかったです。思えるような職場にしたいです。